

問一（二五点）

【採点のポイント】

- ・ 本文の内容を理解できていること。
- ・ 理由について適切に述べていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。

【解答例】

それまでの九州弁ステレオタイプでは、「方言」は「田舎者」のことばで、リアル度が高い場合には注記が必要であり、登場する九州弁キャラもずんぐりむっくり容顔で非モテ系だった。これに対して、モテ系ちやらキャラの登場する最近の九州弁マンガでは、リアル度の高い方言を「遠慮なく」使っていて、方言の地位が向上し、方言が「誇らしい」「使いたい」ものとなった時代を象徴的に示しているから。（186字）

問二（七五点）

【出題の意図】

国語における方言は、かつては排斥の対象となったこともあるが、今日の学校教育では、「伝統的な言語文化」や「書写」と並んで、「我が国の言語文化に関する事項」として扱われるようになっていく。また、方言をめぐる社会環境も変化している。こうした点を身近な問題として受け止めたうえで、自分の意見を論理的に表現できるかどうかを問うものである。

【採点のポイント】

- ・ 方言や地域の言語文化に関する自分の意見がはっきりと述べられていること。
- ・ 身近な例を挙げていること。
- ・ 段落わけなど文章の構成がきちんとしていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。